

## 佐久市協働のまちづくり推進会議 会議記録（要旨）

日 時：令和8年5月25日（月）

13：30～15：00

場 所：佐久市役所 議会棟 第3会議室

出席者：佐久市協働のまちづくり推進会議委員6名

事務局（企画部長・広報広聴課長・広報広聴課職員）4名

佐久市市民活動サポートセンタースタッフ（さくさぼ）1名

### 1 開会

### 2 会長あいさつ

新任委員紹介 野沢地区田町区長 重田 みどり委員  
社会福祉協議会事務局長 谷津 和彦委員

### 3 会議事項

#### （1）第三次佐久市協働のまちづくり計画について

- ・第二次佐久市協働のまちづくり計画の成果と課題の検証について、意見交換を行なった。

【基本方針1：協働の意識を醸成し、担い手を育てます】

#### ○現状と課題

事務局：「市民の参加による意識の醸成」および「人材・団体の育成」では、さくさぼにおいて「カフェさくさぼ」や「おしゃべり会」を開催し、誰でも気軽に地域課題について対話できる場を提供してきた。また、情報発信講座やファシリテーション講座などを通じて、団体のスキルアップにつながる講座を実施するなど、協働の意識醸成や人材育成に取り組んだ。課題として、イベントや講座において、一部の固定化された参加者も見受けられることから、新たな層や参加者へのどの程度、波及・浸透しているのか検証が必要であると考えている。

#### ○意見交換

委 員：市民活動団体の率直な意見をどのように吸い上げていくか。どう目標に反映させていくかが重要だと思う。また、共通認識を持つことで、次の課題が出てくると思う。

事務局：市民活動団体へ次期計画に向けたアンケートを実施予定で準備している。

委 員：学校現場での「さくさぼ」の認知度が低いと感じる。教員が地域活動の担い手を探しているケースもあり、教員向けの周知が必要。

さくさぼ：学校からの相談は増えているが、学校の中での地域とのつながりというのは、探究活動の終了といった区切りで期間限定的になりやすい。情報提供等の対応はしている。限られたスタッフで、どこに力を入れていくかが今後の協働のまちづくりにつながっていくと思う。

委 員：中高生だけでなく小中学生からの下地作りが重要。学生向けにはSNSによる情報発信が有効ではないか。

委 員：シニア世代の力が必要。シニア世代が活躍できるようにしていくのも大事だと思う。

さくさぼ：既にシニア大学で市民活動のミニ講座等を実施している。引き続き丁寧に対応していきたい。

**【基本方針2：活動しやすい環境をつくります】**

○現状と課題

事務局：市民活動サポートセンター（さくさぼ）の充実を図るため、市民活動や協働に関する情報を収集し、提供・発信している。また、地域の課題や市民活動に関する相談を受け、関係機関とのコーディネートを行うなど解決に向けた支援を行っている。様々な団体同士を繋ぐネットワーク構築のため、多機関連携交流会等を開催することで、協働を生み出す土壌を育てている。課題として、団体間の交流の促進や多様な主体から求められる講座内容等ニーズの整理が必要。

○意見交換

委員：「どんな佐久市だったらいいか」といった、参加ハードルの低い気軽な意見交換の場があると良い。

委員：市民から吸い上げた意見を単に聞くだけではなく、具体的な検討の場に繋げる仕組みが必要。自分の意見が市政に反映されたという実感があれば、市民の参加意欲やモチベーションの向上に繋がるのでは。

**【基本方針3：参加、参画しやすい仕組みの充実を図ります】**

○現状と課題

事務局：まちづくり活動支援金による支援や佐久市型情報公開等を推進している。課題として、まちづくり活動支援金のあり方や広聴機能の充実として、多様な世代が、形式的ではない「確かな実感」を持って市政に参加できる機会をさらに充実させる必要がある。

○意見交換

委員：支援金の上限額について、150万円（重点テーマ）は高すぎるため、少額で継続的に活動する団体を広く支援できるよう、上限額を下げるか、少額と大規模で申請枠を分け充実させたらどうか。

委員：より多くの団体に活用してもらうためには、申請基準を明確にして、好ましい基準を設けることが大事。また、審査基準も表現が曖昧な部分もある。

委員：公平性の観点から1団体1件を原則とすべきでは。

会長：支援金の意見については、今後も議論していきたい。

- ・第三次佐久市協働のまちづくり計画の策定スケジュールについて、骨子案、素案の審議、パブリックコメントの実施について説明。

(2) その他

令和8年度佐久市協働のまちづくり推進会議開催日程について

今年度は計画策定に加え、支援金審査等も含まれるため、全7回開催する予定

(事務局から)

- ・次回の会議は、7月を予定。
- ・駒の里過疎対策プロジェクトおよび令和7年度優良事業表彰審査を予定

詳細が決まり次第、案内をさせていただきます。